

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26027 【プログラム名】 実験で学ぼう火山のヒミツ・地層のひみつ



開催日：平成26年7月26日(土)

実施機関：秋田大学
(実施場所) (秋田大学教育文化学部)

実施代表者：川村 教一
(所属・職名) (教育文化学部・教授)

受講生：小学生9名

関連 URL：

【実施内容】

工夫した点：

クイズ形式の質問でプログラムの内容への関心を高めさせつつ、ミニ講義、室内や室外でのモデル実験、クイズなどをバランスよくおこなった日程とした。また、学生との交流の時間において提供する菓子は、テーマに関連した化石チョコや岩石の焼き菓子といった「ジオ菓子」を取り寄せ、イベントテーマについてあらゆる場面で親しみをもたせるようにした。

日程

- 8:45～ 9:00 受付
- 9:00～ 9:10 開講式：講師・学生自己紹介、科研費の説明
- 9:10～ 9:45 イントロダクション：化石クイズ
- 9:45～10:30 昔の生物のうもれかた実習(1)
- 10:30～10:40 休憩
- 10:40～11:30 昔の生物のうもれかた実習(2)
- 11:30～12:00 火山ふん火のモデル実験(1)
- 12:00～13:10 昼食
- 13:10～13:45 イントロダクション：火山クイズ
- 13:45～14:30 火山ふんかのモデル実験(2)
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～15:20 大地の変化のモデル実験
- 15:20～15:40 まとめ・アンケート
- 15:40～16:00 閉講式(未来博士号授与)、終了

実施のようす



大学事務部門との協力体制

委託契約締結: 学術研究課、広報: 広報課および学術研究課、委託費経理: 経理・調達課

広報活動

大学ホームページ(担当: 広報課)および実施代表者の所属研究室ホームページ(担当: 研究室所属教職員)による小・中学校教員および保護者向けプログラム募集案内
チラシ(小・中学校の児童生徒向け募集案内)の秋田市および周辺地区の学校宛配布

安全配慮

室内実験において予想される災害リスク(水でぬれた床の上で転倒する)に対する安全配慮のため机間巡視を行った。

実験開始前の注意の喚起、救急箱の用意、傷害保険への加入(参加者とスタッフ)、保護者連絡先の把握に努めた。

今後の発展性・課題

実施担当者が昨年度事業(整理番号HT25019)で担当した野外実習と比べ参加者が格段に多かったため、本プログラムのような実施形態(室内実習)の方がふさわしいものと思われる。実験は好評であったので、今後は実験を充実させることが適切であると思われる。課題として、開催時期が助手を務める大学生の試験期と重なり、人員の確保に苦労した。このことからスタッフの確保が今後の課題である。

【実施分担者】

石橋 研一	教育文化学部・准教授
山下 清次	教育文化学部・技術職員

【実施協力者】 7名

【事務担当者】

渡邊 雅人	学術研究課・事務職員
-------	------------